

2024年1月31日発行

まだまだ寒い日が続きます。新型コロナウイルスやインフルエンザ等の予防を心がけましょう

アグリ筑西 2024年2月号

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
筑西地域農業改良推進協議会 発行
Tel : 0296(24)9206
Fax : 0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス！↑

令和5年度筑西地域プロジェクト発表会を開催しました！

1月18日（木）筑西合同庁舎において、筑西地域農業青年クラブ連絡協議会と筑西地域農業改良推進協議会、県西農林事務所経営・普及部門の共催で、令和5年度筑西地域プロジェクト実績発表会を開催し、管内農業後継者や関係機関など47名が参加しました。

プロジェクト発表の部では、農業後継者クラブの「筑西4Hクラブ協和支部」、「筑西4Hクラブ下館支部」、「大地のめぐみ」のそれぞれの代表者3名が、これまで取り組んできた課題について熱のこもった発表を行いました。また、講演会では稲敷市のYAMAGUCHI farm株式会社 代表取締役社長 山口貴広さんから「200haへチャレンジ～就農から今に至る道～」と題し、茨城モデル水稲メガファーム育成事業を活用したこれまでの規模拡大の歩みや法人化、雇用に関してお話をいただきました。

プロジェクト発表については、農業三士等による審査員の厳正な審査の結果、「ドローンを用いた湛水直播栽培の導入による経営改善」と題し、繁忙期の作業時間の削減と費用対効果について検証を行った、「大地のめぐみ」の吉田大輝さんが最優秀賞を獲得しました。吉田さんは、筑西地域代表として、2月8日（木）に行われる県のプロジェクト実績発表会に出場します。

○最優秀賞

「ドローンを用いた湛水直播栽培の導入による経営改善」

大地のめぐみ 吉田 大輝 氏

○優秀賞（発表順）

「抑制トマトの購入苗と自家苗、我が家の経営に適する苗は？」

筑西4Hクラブ協和支部 深谷 拓希 氏

「農機メーカー2社の田植え機の比較」

筑西4Hクラブ下館支部 直井 悠貴 氏



プロジェクト活動発表者（左から吉田氏、直井氏、深谷氏）



発表会の様子



作物	病害虫名	発生量	発生地域	防除上注意すべき事項
イチゴ	アザミウマ類	多い	県下全域	<ul style="list-style-type: none"> 増殖が速いので、発生が少ないうちに防除を徹底する。 薬剤散布は十分な量で丁寧に行う。気門封鎖剤以外は、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、IRAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。
	ハダニ類			
促成トマト	黄化葉巻病 (タバココナジラミ)	多い	県下全域	<ul style="list-style-type: none"> 発病株は見つけ次第抜き取り、適切に処分する。 タバココナジラミの施設内への侵入および施設外への飛び出しを防ぐため、開口部に0.4mm目合い以下の防虫ネットを設置する。 黄色粘着板や黄色粘着テープを施設内や周辺部に設置し、タバココナジラミ成虫を捕殺する。 タバココナジラミは多発すると防除が困難となるため、発生が少ないうちに防除を徹底する。 耐病性品種もトマト黄化葉巻ウイルスに感染するため、タバココナジラミの防除は感受性品種と同様に行う。

収量や品質アップ！可給態窒素（地力窒素）の重要性

作物が活用できる^{チッソ}窒素は、主に化学肥料から供給される速効性の成分と、堆肥や稲わら等の有機物が徐々に分解されることにより効果が表れる遅効性の成分に分けられます。可給態窒素は後者の成分で、施肥設計の際には無視されがちですが、かんしょやトマト、小麦等では土壌中の残存量を考慮した施肥により収量や品質が向上する可能性があります。

表：窒素過剰が収量・品質に及ぼす影響と対策

品目	窒素過剰による症状の例	対策												
かんしょ	地上部のつるの生育が旺盛となり芋が低収	可給態窒素4mg/100g以上の場合は減肥または無施肥。 (茨城県、2023)												
トマト	裂果等の発生割合増加	可給態窒素が4mg/100g以上の場合、追肥の窒素成分を3~6kg/10a減肥すると、裂果等の障害果が低下し、可販果率は向上する。※標準施肥に比べ総収量は減少するが、可販果収量は同等。 (岩手県、2022)												
小麦	倒伏、子実タンパク含有率基準値の超過	基肥施肥窒素量は以下の式から算出する。 基肥施肥窒素量(kg/10a) = 14.1 - 可給態窒素量(kg/10a) ※品種は「さとのそら」(茨城県、2015)												
水稻 (転換田)	生育過剰による倒伏、いもち病の発生助長	<p>表 転換田における水稻の基肥窒素量の診断基準 (基肥+追肥の施肥体系における指標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>可給態窒素 (mg/100g)</th> <th>基肥施肥量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>33.4以上</td> <td>倒伏に強い品種へ変更+基肥無施用</td> </tr> <tr> <td>29.7~33.4</td> <td>基肥無施用</td> </tr> <tr> <td>25.9~29.7</td> <td>基肥窒素1kg/10a</td> </tr> <tr> <td>22.2~25.9</td> <td>基肥窒素2kg/10a</td> </tr> <tr> <td>18.5以下</td> <td>基肥窒素は連年水田の施用量準拠</td> </tr> </tbody> </table> <p>※品種は「コシヒカリ」(茨城県、2023)</p>	可給態窒素 (mg/100g)	基肥施肥量	33.4以上	倒伏に強い品種へ変更+基肥無施用	29.7~33.4	基肥無施用	25.9~29.7	基肥窒素1kg/10a	22.2~25.9	基肥窒素2kg/10a	18.5以下	基肥窒素は連年水田の施用量準拠
可給態窒素 (mg/100g)	基肥施肥量													
33.4以上	倒伏に強い品種へ変更+基肥無施用													
29.7~33.4	基肥無施用													
25.9~29.7	基肥窒素1kg/10a													
22.2~25.9	基肥窒素2kg/10a													
18.5以下	基肥窒素は連年水田の施用量準拠													